



高齢者の生活を守り、平和な日本を次世代につなぐため―― 衆院選闘争に、県退職者連合の総力を結集しよう!!

第51回衆院選について、県退職者連合は「第35回定期総会(12/12)」決定の26年度方針に基づき、連合福島との現退一致の方針を基本に闘い抜くこととします。



衆議院が解散され1月27日公示・2月8日投票で衆議院選挙が行われることとなりました。

高市内閣は政権発足後、議員定数削減や防衛費の引き上げ、安保三文書の改定等物価高に悩む国民生活を無視した政治を推し進めてきました。

私たち退職者連合は、高齢者が安心して生活できる社会実現のため、自民党政治に終止符を打たなければなりません。

連合福島は今次総選挙に別記記載の予定候補者の推薦・支持を確認しました。

私たちは、昨年の総会で「政治闘争は現退一致で取り組む」ことを確認してきました。

短期間での選挙となりますが、確実な投票行動となるよう徹底した取り組みを要請します。

棄権は危険です！私たちの力を最大限に発揮していきましょう！

2026年1月27日

福島県退職者連合 会長 伏見 吉弘

連合福島 推薦・支持予定候補者(小選挙区)			
推薦	1区 (県北)	金子 恵美	中道改革
	2区 (県中)	玄葉光一郎	
	3区 (会津 県南)	小熊 慎司	
支持	4区 (いわき相双)	齋藤 裕喜	国民民主
	4区 (いわき相双)	山口 洋太	

「現退一致」を再確認!! 《連合福島との意見交換会》

1月22日県退連から会長・副会長・局長・次長、連合福島より澤田会長・大槻代行・塩澤局長の参加、双方現状と課題や今後の方向性が報告され、その後自由に意見が交換されました。組織拡大、連合財政と分配、衆院選の取組等について有意義な意見交換がはかられたと思います。

今後とも「現退一致」を基本に、県退連と連合福島の連携を強めていくことが確認されました。

日本退職者連合アピール【一部抜粋】

第51回衆議院選挙にあたって

国民主権・国民生活最優先の 政権を目指して

本日、衆議院が解散され第51回衆議院選挙が行われることになりました。安倍・菅・岸田・石破政権となり、熟議の国会になるかの矢先、高市政権が強権路線を突き進もうとしています。

政権発足以降、政治資金問題を置き去り議員定数削減にすり替え、防衛費引き上げ安保三文書の前倒し改定など国民の声を無視した政治を進めています。生活に直結する予算審議を後回し、政権発足わずか3カ月余りで衆議院を「国益より自分ファースト解散」する自民・維新に政権運営を任せることはできません。

日本退職者連合は、連合とともに今の政治をリセットし、すべての働く者・生活者の立場に立った「政治」による「政策」を実現して、平和で安心して暮らすことのできる日本を創るために、すべての構成組織・会員・家族の皆様の積極的な取り組みをよろしくお願いします。

2026年1月23日

日本退職者連合 会長 野田 那智子

期日前投票を

最強・最長寒波、福島県には豪雪地帯もあります。投票日が好天とは限りません。厳寒期の合間、天気の良い日、都合がつく日「期日前投票」をぜひお願いします。

